

日本基督教団 東中国教区ニュース

NEWS

東中国教区
教区ニュース誌委員会
〒710-0008
倉敷市鶴形一五五
倉敷キリスト会館内
TEL 086421-1718

第66回教区総会

開会礼拝説教

イザヤ書 30章15節〜24節による

「主を信頼し、心を落ち着かせよう」

・玉野教会・

牧師 山本博之



ユダの人々に対し、主なる神は「わたしに立ち返り、わたしの助けを待ち望みさえすれば、

「背く子ら」(30・1)と言われてしまった主の民の姿を通して、信仰の在り方や神への態度について学ばせていただきましょう。
▲1. 主を信頼し、心を落ち着かせよう
 イザヤの時代、迫りくる超大国アッシリアの侵略を恐れるユダの人々に対し、主なる神は「わたしに立ち返り、わたしの助けを待ち望みさえすれば、



たり、他人の意見や情報に振り回されたりすることはありません。困難な時こそ

お前たちは救われる。心を落ち着けて信頼することが、お前たちの力となるのだ」と告げられました。しかし、民らは神の御心を求めるのではなく、愚かにも自分たちの考えやエジプトの軍勢力を頼りにしたのです。彼らの歴史を見るならば、出エジプトに於いて神の大きい救いを経験し、さらに、十戒を守るならば幾千代にも慈しみを与えるとのすばらしい約束を神から頂いていました。しかし、アッシリアの侵略という想定外の事態に直面した時、冷静さを失い、自分の考えを優先して行動してしまつたのです。
 私たちはどうでしょう。予期せぬ事態や困難な出来事に直面した時、冷静沈着でいることの難しさを覚えるのではないのでしょうか。しかし聖書は、私たちが考えること以上に、神が私たちのことを一番に心配して下さい、「わたしに頼りなさい」と告げるのです。冷静な人は、神と共に過ごす時間の大切さを知っています。そのような人は感情に流されたり、他人の意見や情報に振り回されたりすることはありません。困難な時こそ

第66回教区総会開会礼拝説教	1
議長就任のご挨拶	2
副議長抱負・書記挨拶・第66回東中国教区総会報告	3
常置委員就任のご挨拶	5
教会紹介	6
東中国教区へようこそ	7
編集後記	8



自分の考えを棄て、神に立ち返って祈り、主を信頼する者としての落ち着いた歩みをさせていただきましょう。
▲2. 主は常にあなたを導かれる
 主は悔い改めるご自身の民らに恵みを与えようとして立ち上がられると預言されています。18節の「あなたたちを待ち」との言葉に放蕩息子が帰ってくるのを忍耐と希望をもって待ち続けた父親の姿を思い出します(ルカ15・20)。父親は、犯した罪を自覚して戻ってきた息子を咎めるどころか、息子が無事に帰ってきたことを喜んで祝宴を開きました。ここに「憐れみを与えようとして立ち上がる」神の姿が示されています。
 主は、心の落ち着かない迷いや私たちに對して御言葉を語られ、救いの道へと導いてくださるお方です。そのような神との正しい関係の中に留まり続けることこそがわたしたちの力であり、幸いなのです。

議長就任のご挨拶

岡山教会 大塚 忍



第66回東中国教区定期総会において総会議長に選出されました。このことを神さまの召しであることを信じ、畏れをもって謙虚にその役割をこなしていきたいと考えています。これまでの二年間、嵐議長、中井書記と共に副議長として教区に關わってききましたが、そこでの経験が活かされることを願っています。また、副議長に選出された服部修牧師、書記に選出された田中寿明牧師、常置委員（柴田彰牧師、中井大介牧師、橋原正彦牧師、田中英也さん、土井しのぶさん、難波幸矢さん、濱上進さん）の皆様と共に祈りを合わせ、教区に仕えていきたいと思ひます。

先の教区総会では「常置委員選挙慣行に関する件」（議案第一号）が上程されました。この議案は可決され、これまで教師常置委員四名、信徒常置委員三名のメンバー構成が、教師常置委員三名、信徒常置委員四名に改められました。議案の提案理由の一つに「この教区での文化的な伝統の中で長く住んで豊富な社会経験を持つ信徒が、地域共同体の実態に即して具体的な提案を出すことができると考えます」とあります。教区の働きの活性化のために、新し

く大胆な発想で提言をしていただき、力を合わせて教区の宣教を充実させていきたいと思ひます。

緊急議案として常置委員会から「『共謀罪』と実質的に変わらない、いわゆる『テロ等準備罪』を創設する組織的犯罪処罰等改正法案の強行採決へ抗議と、同法案への廃案要求に関する件」が上程され、賛成多数で可決されました。わたしたちの教団は、過去にアジア・太平洋戦争を是認し、支持し、その勝利のために祈るといふ過ちを犯しています。イエスは「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」（マタイ5・9）。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」（マタイ26・52）と言います。わたしたちは、信仰者としてのこの言葉に従って声をあげることがあります。しかし、この行為が「組織的犯罪集団」の定義に当てはまってしまうことにもなりかねません。六月一日朝、この法案は採決の強行で成立してしまいました。わたしたちは、このような厳しい現実、小さな声を大きな声が簡単に飲み込んでしまう現実の中に生きています。「あなたがたは世の光である」とのイエスの声に従い、連帯しながら平和の使者としての役割をより一層強め担っていきたくと思ひます。

教会伝道支援事業実施要項が整えられ、今年度も「兼務・代務教会の礼拝サポート事業」が実施されます。また、教区内小規模教会の伝道支援等を目的として「教会支援教師」を派遣し教会の伝道を支援する事業が始まります。先にお送りしました「教会伝道支援事業実施要綱」をお読みいただき、ご参加いただければと願っ

ています。

その他、教区の働きは多岐に渡り、課題も多く残されています。それらを共に担っていくために、各地区、各委員会の方々の声を聞きながら力を合わせていきたいと考えています。

わたしたちの東中国教区には、信仰の先達たちの存在があります。その方々の祈り、奉仕の業がこの教区を形作ってきました。わたしたちは、それらの祈りと業とを想起し、受け継ぎ、活かし、育て、わたしたちの生きる時代、場所においてふさわしく展開していかなければなりません。その作業において重要なことは、変化に対する覚悟を持つこと、同時に、堅持することの冷静さをもつことです。アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーは以下のように祈りました。「神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵をあたえたまえ」と。わたしたちは、東中国教区の宣教の展開のために語り合い、教区のあるべき姿を求めて行動していかねばなりません。しかしその業を担うのは限界を持つ人間であることを認識しなければなりません。その認識によってわたしたちは、絶対者を想起することができるのです。その方に向かい合い、共に語り合い語り合いながら教区の宣教をになっていきますように。

東中国教区の諸教会の皆様歩みのうえに神様の祝福が豊かにありますように。

副議長抱負

蕃山町教会 服部 修



総会議場でも述べたことですが、まさか副議長に再任されるとは思いませんでした。しかし神さまが総会を通して示された結果ですから、選ばれた以上は誠実に仕えてまいりたいと願っております。

とりわけ、東中国教区にあつては、兼牧・代務・無牧の教会が多くあり、一人の教師が多大な負担を担っているケースもあります。その意味では宣教部の働きが重要になってまいりますし、副議長がその任を負うわけですから、今後の教区内の教会・伝道所の活動、その推移を、教区予算や伝道資金の管理と共に注視しなければなりません。どんなに小さな教会でも、そこに教会として存在していることが意味を持っていることは明らかだからです。

それでは、どのようにしたら持続可能な活動ができるか、そのためにどのようなサポートができるか、ということを真剣に検討し、実行していかねばならないと考えています。かつて「中期宣教計画」が採択され、その延長線上にある活動も始められておりますから、教団の伝道資金を教区内の教会の伝道のためにしっかりと活用しつつ、教区総会でも意見が出されましたように、教区全体の活動のことも視野に入れながら、教区が健やかに主の御委託に因應することができるよう、折りつつ仕えて行きたいと考えております。

どうぞ教区、また三役、執行部のために御加禱ください。

書記挨拶

天城教会 田中寿明



第66回日本基督教団東中国教区総会において、新書記を命ぜられました田中寿明です。

東中国教区に来て八年目を迎えました。二年前の第64回東中国教区総会前の約二ヶ月間、ピンチヒッターで書記の任をさせていただきましたが、このような欠けの多いものを用いて下さる主に驚いております。ただ、教会の周りの世界は、急速に変化をされていて、特に、「我が国及び国際社会の平和及び安全の確保に資するため自衛隊法等の一部を改正する法律（二〇一五年九月三〇日法律第七十六号）」、「国際平和共同対処事態に際して我が国が実施する諸外国の軍隊等に対する協力支援活動等に関する法律（二〇一五年九月三〇日法律第七十七号）」が成立及び施行され、今国会においても、組織犯罪処罰法等改正法案が可決してまいりました。平和が脅かされる時代の中で、平和を造り出すキリスト教会の働きが重要になってきていると思えます。平和を守り、人々と支え合う社会を作り出す教会の働き人として、また合同教会としての日本基督教団の豊かさを大切にし、主の枝としての各教会・伝道所を私のできることで支えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

第66回東中国教区総会報告

2017年5月29日（30日）

田中寿明書記

第66回東中国教区総会が、5月29日（月）30日（火）、倉敷教会を会場に正議員87名中71名が出席して開催されました。まず、会場を提供して下さり、二日目の昼食も用意して下さるなど、倉敷教会の方々の心温まるご奉仕によって総会が行えましたことを心より感謝いたします。

開会礼拝では、山本博之牧師（玉野教会）の説教、永倉信嗣牧師（岡山聖心教会）司式による聖餐式が執り行われました。

一日目の主な議案は、議長報告、三役選挙（特に議長選挙・副議長選挙）でありました。『第66回定期総会執行順序（案）承認に関する件（議案第二号）』において、常置委員会より提案された緊急議案『共謀罪』と実質的に変わらない、いわゆる「テロ等準備罪」を創設する組織犯罪処罰法等改正法案の強行採決へ抗議と、同法案の廃案要求に関する件（提案者・常置委員会）を議案第18号として取り扱い、議事運営委員会から、議長選挙の前に、（議案第一号）『常置委員選挙慣行の一部改定及び東中国教区規則の一部改定に関する件（提案者 田中英也（上井教会信徒議員）』を先に審議し、採決後に、議長選挙に入るとの提案が出され、賛成多数によって承認されました。

嵐護議長より議案書掲載の議長報告がなされました。その中で、二〇一六年十月二十一日午前二時七分頃発生した鳥取県中部を震源とする

最大震度六弱の地震について、倉吉市だけで九千棟の損壊が明らかになり、特に倉吉復活教会の被災が大きいことを目の当たりにしました。今回の被災に対して教団、奥羽教区及び五教会から支援金をいただき、被災三教会へ引き継ぎましたことを、感謝をもって報告され、なお、倉吉地域には、いまだ屋根がブルーシートに覆われた家屋が多く見られ、できるだけ早く復旧されるよう祈らざるを得ないとの報告をされました。質疑の後、議場はこの報告を承認しました。

第一号議案は、慣行改めが過半数、他方、教区規則変更が出席議員三分の二以上の同意（教区規則第57条）と、採決に混乱を来す議案立てのうえ、教区規則変更は教団総会議長の承認が必要（教団教規第60条②）で施行までに時間を要す案でありました。質疑によって提案者の第一の願いが、慣行の改めであると判明しましたので、議員らの助言的発言と、提案者自身の同意のもと、規則改定を要さない議案の修正案（修正後議案名、常置委員選挙慣行に関する件）が出され、採決をしました。63名中賛成34名で可決しました。

常置委員会報告・教勢教務報告に関する件は、中井大介書記より常置委員会報告・教勢教務報告がなされ、これについて承認しました。なお、各地区、各部各委員会の報告は、報告審査委員会、財務審査委員会に回付して、二日目に各審査委員会の報告を受けて承認されました。

二〇一六年度教区歳入歳出決算承認に関する件（議案第九号）及び、会計監査報告に関する

件は、松田章義財務部委員長と阪西恵理子会計監査委員長の報告を受け、財務審査委員会に回付することを承認して、二日目に、財務審査委員会の報告を受けて、賛成多数で承認しました。准允執行承認に関する件は、今年度春季補教師検定に合格され、教区に赴任された伊勢希さん（岡山教会）、岩住啓太さん（蕃山町教会）、林明奎さん（倉敷教会）、中道順さん（境港教会）の准允執行を承認しました。

一日目の夜のプログラムは、当初午後六時に終了し、その後、夕食・プログラムを行って、午後八時三〇分終了の予定でしたが、一日目の議事が大幅にずれ込んだため、食事をともにしながら、これまで行っていました新任教師の紹介・来賓の挨拶に加えて、『圧殺の海 第二章「辺野古」』のビデオを上映する形になりました。



教区総会が開かれた倉敷教会の議場

▲新議長に大塚忍教師を選出▼

教区議長選挙は、予備投票、本投票を経て、有効投票総数71票中、大塚忍議員37票、服部修議員22票、柴田彰議員11票で、大塚忍議長が選出されました。新たな二年間の任期のお働きのために祈りを合せました。

▲新副議長に服部修教師を選出▼

教区副議長選挙は、予備投票、本投票、再選挙、決戦選挙を経て、有効投票総数66票中（白票一票）、服部修議員33票、中井大介議員32票で、服部修副議長が選出されましたので、新たな二年間の任期のお働きのために祈りを合せました。

▲新書記に田中寿明教師を選出▼

教区書記選挙は、慣例通り議長および副議長による指名となりましたが、一日目は議案の上程だけとなり、二日目の冒頭田中寿明議員が指名され、議場の承認を得る運びとなりました。新書記のために祈りを合せました。

教区常置委員選挙結果

議長選挙の前に、上程可決された慣行（教師常置委員三名、信徒常置委員四名）にそって教師、信徒ともに、予備投票の後、本投票が行われ、左記の議員を選出いたしました。

教師常置委員（敬称略）

中井 大介（倉敷）
柴田 彰（倉吉）
橋原 正彦（鳥取）

信徒常置委員 (敬称略)

濱上 進 (倉敷水島)

難波 幸矢 (光明園家族)

土井しのぶ (総社)

田中 英也 (上井)

准允式執行

二日目30日(火) 午前九時、伊勢希教師(岡山教会)、岩住啓太教師(蕃山町教会)、林明奎教師(倉敷教会)、中道順教師(境港教会)の准允式が、大塚忍議長の司式により執行されました。それぞれの受允の言葉が明確に述べられていました。これらの方々に対する神様の召命への決断があることを確信させられました。主の支えと励ましと導きを祈ります。赴任された教会の信徒の方をはじめ、関係の方々も准允式に出席してくださいました。感謝であります。

逝去者記念礼拝式

30日(火) 午後一時、橋原正彦牧師(鳥取教会)の司式・説教によって、逝去者記念礼拝が行われました。二〇一六年度中に天に召された49名(信徒48名、隠退教師1名)の方々を覚えて礼拝を捧げました。ご遺族の方々も数名出席してくださいました。

各部委員選任に関する件

服部修選考委員長より提案があり、賛成多数をもって可決いたしました。

委員の選任方法につきましては、慣例に従って、選考委員会による提案を議場が可決するというものですが、今総会においては、常置委員選挙(教師本選挙・信徒議員予備選挙)の結果

発表が、二日目になり、二日目の昼食会時に選考委員会が開かれました。その為、二日目昼食会後再開された議場で提案されました。議場からの、任期満了の会計監査委員選出が漏れているとの発言を受け、同委員関係は確認を含め「常置委員会預かり」とし、承認となりました。

『共謀罪』と実質的に変わらない、いわゆる「テロ等準備罪」を創設する組織犯罪処罰法等改正法案の強行採決へ抗議と、同法案の廃案要求に関する件(議案第18号)

65総会期常置委員会より一日目に配布された議案18号について、協議しました。反対の立場の意見として、キリスト教会は社会問題に対して意見を出さない方がよいし、出すとしても同じ思いを持つ者のみで出すべきだというのがありました。質問としては、声明文を何処に出すのかという質問がありました。議長より、(敬称略)内閣総理大臣安倍晋三、自由民主党幹事長二階俊博、公明党代表山口那津男、衆議院議長 大島理森、参議院議長伊達忠一、法務大臣 金田勝年、山陽新聞社編集局長、NHK岡山放送局、朝日新聞岡山総局、日本海新聞編集局長、NHK鳥取放送局局長、朝日新聞鳥取総局鳥取総局長、岡山弁護士会、鳥取弁護士会、日本基督教団事務局、日本基督教団各教区に国会閉会前にできるだけ早く送付するとの回答がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、六月七日付けで発送したことを報告します。

常置委員就任のご挨拶

●柴田 彰：倉吉教会



当教区は地理的には山陰の鳥取と瀬戸内の岡山の間、交通網の発達により垣根は低くされています。系譜的な教義や神学傾向の相違は、人の力ではなく聖霊の働きによって昇華され、協働の働きに導かれると信じています。

●田中英也：上井教会



信徒常置委員として選ばれたので、第一に信徒の声が常置委員会に届くように努めます。次に教職と信徒の協働により教区の「小教会の礼拝サポート」の具体化を推進します。

●土井しのぶ：総社教会



「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる。」(マタイ一八・二〇) 聖霊の助けの下に、人の「尊厳」を大切にしよう。大切にしあう教会コミュニティを目指します。

●中井大介：倉敷教会



私たちは「主の栄光を世に宣べ伝える」という唯一の目的を共有しています。私たちはこれに応答する者として招かれたのですから目的を見失わずに力を合わせて参りましょう。

●難波幸矢：光明園家族教会



キ障共会長や岡山・ホームレス支援さずなの理事、ハンセン病関連はライフワーク、沖縄はじめ不条理な立場に置かれた方々と連帯しつつ、現場の視点を大事に考えて歩みたいと願っています。

●橋原正彦：鳥取教会

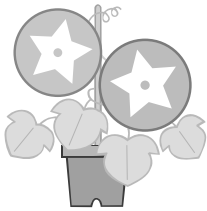


教師の常置委員が三名に減員となった分、責任の重みを感じています。教勢の低迷をはじめ課題は多いですが、教区において人の思いではなく主の御旨が成るよう祈り仕えます。

●濱上 進：倉敷水島教会



二期目の常置委員を務めさせて頂きます。教区と教会の狭間で切なる課題が見えてきました。宣教活動の前進のため、特に財政面での課題改善に、主の導きを得て取り組んで参りたいと思います。



教会紹介

●鳥取教会●

信徒 浅井慶紀

明治十年代、アメリカンボート(米国伝道会社)の支援で山陰の中心、鳥取市にも優れた宣教師たちが次々にやってきた。彼らの教えを受けた若者たちが中心となり自立教会として、明治二十三年二月二三日(一八九〇)「鳥取教会」を創立した。初代牧師は内田正氏である。多くの苦難を乗り越え、主の愛に溢れ、信仰に燃える多くの人々によって教会は支えられ「世の光」「地の塩」として生きてきた。

大正四年(一九一九)、現在地に新しい教会堂をつくり、創立四〇周年記念式を行った。

教会の歴史の中で最も悲しい出来事は、戦争末期の昭和二〇(一九四五)、

南窓館(愛真幼稚園)が憲兵隊によって強制貸与させられ、それを守るため教会堂が取り壊されたことである。その七日後に戦争は終わっている。



2017年4月16日 イースター礼拝

その後、牧師館や愛真幼稚園を使って礼拝が守られた。戦後、キリスト教への関心が高まり多くの若者たちが教会を訪ねた。

昭和二十四年(一九四九)教会堂が新築されやつと礼拝堂で礼拝を守ることが出来た。その時の喜びが今も心に残っている。

現在の教会堂は、創立百周年を記念して、昭和五九年(一九八四)建てられたものである。

現在、鳥取教会では役員会のほか、三つの委員会(伝道、社会、教育)が設けられ一人一役を原則として色々な活動を行っている。今それらのいくつかを紹介する。

伝道委員会では、受付で来会者を笑顔で迎えている。「愛はほほえみから始まる」の実践である。

秋には市民を対象にした特別集会を開催している。昨年は、「福音落語と福音賛美の集い」で露のききょうさん、菅原早樹さんを招いており多くの方々が参加してくださった。

毎月の第二週、第四週の礼拝後はコーヒーコーナーを設けパン・コーヒーを用意したのしい交わりの場を持っている。利益金はバングレイディッシュ教育支援に捧げている。礼拝後の第一週、第三週はシオン会(女性の会)手作りのうどん・炊き込みご飯を用意して礼拝出席者に提供している。

今年二月の創立百二十七年記念研修集会では、「わたしと鳥取教会」をテーマに、教会の歴史・忘れられない人々などを学んだ。

社会委員会では特に、友情・福祉に力を入れ、高齢・病氣・入院などで教会に出席できない方々



鳥取教会近景

礼拝出席者減少などで多くの教会と同じ悩みを抱えている。私たちは今ここに立っている。歴史を引き継ぎ次世代へ伝えるには何をすべきか考えている。

のお見舞いや母の日、敬老の日、クリスマスには、メッセージカードなどを贈っている。また礼拝出席が困難な方にはタクシー券を差し上げてサポートしている。

「愛の泉」は賛助会員（昨年七六名）の会費によって、支援（生活支援・奨学金・病氣入院など）を必要とする方々を不十分ではあるが支援している。

教育委員会は、教会学校が中心である。特に夏には一泊二日の夏期聖書学校を開催し、楽しいプログラムを準備し多くの生徒の参加を得ている。また教会との合同礼拝にはベルと讚美奉献をしている。

「鳥取教会報」も年二回（A4・六ページ）発行して伝道活動にも使われている。

その他、毎年五月に愛真幼稚園との合同バザーを開催している。利益金はすべて対外献金として捧げている（昨年は六二万円余）。

問題点としては、高齢化、少子化、財政難、

東中国教区へようこそ

岡山教会

伊勢 希



この三月に同志社大学神学研究科の前期課程を修了し、四月から岡山教会に伝道師として着任しました伊勢希と申します。

インングランドの司祭であるジョン・ダン（一五七二—一六三一）が著した『自殺論』を研究しました。その本の主なテーマは、ダンが「自殺罪」という考えはなぜ生まれたのか、何故罪なのか、という当時当たり前にあった考え・風潮に疑問を投げかけるというものです。私は父が牧師をしていた為、キリスト教や教会の様々なことに対し「当たり前」と思い込んで生きてきたことが多かったように思います。そんな自分自身に対し「今まで当たり前だと思ってきた物事を当たり前前とは思わずに自分自身で考え語る」という課題を掲げ、現在悩みつつ実践中です。

教区総会内で行われました准允式でも申し上げましたが、私は父が倉敷水島教会で牧会をしていた時に生まれました。生まれ故郷に戻ることができ嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

蕃山町教会

岩住啓太



主の御名を賛美いたします。

東京神学大学での学びを終え、この春に蕃山町教会に伝道師として遣わされました。先日の東中国教区定期総会で准允を受けることを許されました。

私は、幼少期は大阪教区の大坂南吹田教会、受洗は東北教区の泉高森教会、神学生時代は西東京教区の十貫坂教会で礼拝生活を送ってきました。主の御体なる教会のたくさんの祈りと交わりに支えられて今日の自分があることを思い、心から感謝いたします。

岡山での生活は全てが新鮮です。

この地に遣わされてきたことを喜んで、与えられた務めに集中していきたく思います。主の栄光のために、御言葉の奉仕を通して、みなさんと共に教会形成の業に仕えていきたいと願います。わたしたちを召し出会わせてくださった主の御名が世々限りなく褒めたたえられますように。これからも、交わりとお祈りのお支えを、どうぞ宜しくお願いいたします。

境港教会



中道 順

四月より境港教会に遣わされました。

中道順と申します。

私の故郷には船一本という境港の地に遣わされた神様のご計

画の不思議さに驚いています。船の汽笛が聞こえ、おいしいお魚があり、湿度が高い、などどここの地の良さを改めて実感しているところです。境港にきてから改めて礼拝とは何か、その中で説教をするということにはどのような意味があるのかということ問われています。また、夫婦二人での牧会という境港教会にとっても私にとっても新たな業となり、むずかしさも少しずつ実感してきていますが、新たな可能性を祈りつつ、示されていけばと思います。

これから、教会やそれ以外の場所においても働きを広げ、そのことが神様ののみ旨を示すものとなるよう祈りながら歩んでいきたいと願っています。今後もよろしくお願い申し上げます。

倉敷教会

林 明奎 (イムミョンギョ)



コーヒーの香りとともに

「いむずかふえ」、ご存知ですか。毎週土曜、午後五〜八時、倉敷教会の喫茶で牧師と伝道師がカフェをしています。

私が生豆から焙煎してドリップした新鮮なコーヒーを一杯飲みながら、お話が盛り上がっています。

私は、韓国出身です。高校一年の時に受洗した私は、その時からいざれ日本へ行って、日本の教会で、日本の方のために働くうとしていました。主の恵みによって、同志社神学研究科を修了し、教団の補教師試験に合格できたと信じています。そして、歴史と伝統ある倉敷教会の信徒の方々の招きによって、倉敷教会で喜びをもって仕事をしています。

四月、主日礼拝の司式と説教の時は、自分にとっては母国語ではない日本語を緊張感に包まれながら読み上げました。毎週土曜の夜は、牧師の指導を受けながら司式の練習を続けました。今、その時を考えてみれば本当に感謝の時でした。

教会からの盛大な歓迎会は、今も忘れられない感動の瞬間でした。これから自分の

賜物を生かして心から感謝をもって伝道者の働きに励んで参りたいです。倉敷教会、そして東中国教区のすべての教会が積極的に宣教の働きができ、自分もその隙間を埋めながら助けになればと思います。どうか、「いむずかふえ」からのコーヒーの香りが主イエス・キリストの香りと変わり、こつこつ、ますます、実を結ぶようにと祈ります。じゃー、コーヒー一杯いかがですか。



編集後記

教区総会のご報告、主によって立てられた皆さんと新任の先生方のご挨拶を中心とした本号。前年度までの体制で計画していた内容を予定通りお届けできて一安心。ニュース誌委員会のメンバーも教区総会を経て大幅に交替です。これまでの誌面の良い所を引き継ぎながら、なおフレッシュな視点で、東中国教区に連なる皆さまと、喜びも悲しみも分かちあえる誌面作りに、献身の思いも新たに励んで参ります。

(G記)